



令和8年度
4月号
4月21日発行

“学びの森”だより

令和8年度「森の道標」について

学びの森は、「教育支援センター 学びの森」として新たにスタートしました。令和8年度の訪問研修「森の道標」では、熱意と指導技術の2つの観点を基に指導をしていきます。

学びの森として目指す教師の観点

熱意

- ・ 子供のために一生懸命に授業に取り組む教師
- ・ 子供と一緒に授業をつくろうとする教師
 - 「教える人」ではなく、「ともに考える人」であることを大切にできる教師
- ・ 多様な子供がいることを常に意識し、「全員に居場所がある授業」を目指す教師

指導技術

- ・ 基礎技術（可視化ツールとしての板書、ICT、発問、言葉遣い、立ち位置、声の大きさ、間、グループ形態の作り方・・・）を身に付ける教師
- ・ 一人一人の実態を把握し、小さな変化に気付ける教師
 - できた・できないだけでなく、「どう考えているか」を見取ろうとする
- ・ 子供に教科の魅力を伝えるために、単元（題材）を見通し、授業を組み立てられる教師

研修の流れ

※グループチャット（授業者・校長先生・教頭先生・教務主任・指導員・学びの森事務員を基本とする）を作成します。管理職の先生には、「日程確認」や「提出物」等、授業者にお声かけをお願いします。

1 「計画表」の確認・入力（訪問月の前月初旬に送付）

2 「指導案」の提出：事前研修・授業日の平日2日前の正午まで

※「指導案」：各校の様式で構いません。単元構想・子供の実態・本時の目標・授業構想・指導過程・評価が書かれたもの。

3 指導員訪問

事前研修

授業と一緒に検討する時間とします。学年部・教科部・管理職の同席も可。



授業

座席表の用意をお願いします。



事後懇談

一緒に授業を振り返ります。

4 「授業力向上シート」の提出：今後の授業に活用してください。

※懇談終了後5日以内とし、学校で教頭・校長に提出後、学びの森に送付する

「若手講師研修」

経験の少ない県、市講師の先生方が子供たちと一緒に授業や学級をつくっていく手助けをすることを目的に、新学期早々から訪問しています。訪問では、子供たちの前での話し方や話す内容、学級づくりを進める上で大切にしたいこと、授業の基本的な組み立て方などについて、支援していきます。この訪問は5月半ばまで続きます。講師の先生方の不安な気持ちを少しでも和らげ、応援していきたくと考えています。



「中学校 授業づくり推進委員研修会」

今年度は「子供の心が動く授業づくり」をテーマとし、単元構想の工夫と指導と評価の一体化による授業改善を重点として、各教科の活動計画を作成、共有する機会となりました。

研修会開催日はカレンダー保存フォルダ ↓↓↓ から確認いただけます。

〇〇〇 全学校共通 → 【中学校授業づくり研修】 → R8 → ☆☆R8 教科部研修会カレンダー

小学校の先生方の参加もお待ちしています。参加方法、各教科の内容等について、不明な点は市教委、または学びの森までご相談ください。

「研修主任研修会」

学習評価について協議することで共通理解をし、学習評価と授業改善の取り組みを振り返ることで、校内の教育活動の充実につなげることを目的として開催されました。学習評価には、「これが正解」となかなか言い切れない難しさがあります。各学校において、校内研修等を実施し、共通理解を深めていくことを確認しました。



☆☆お知らせ☆☆



5月から、学びの森は「鈴木図書館2階」に移動します！

電話線開通時期が未定のため、4/30(木)以降の連絡は、チャットをご活用ください。お急ぎの方は、ふれあい教室(090-1412-0534)に連絡をお願いします。電話線開通後、チーム【掲示板】全教職員にてお知らせします。



4/30(木)
「鈴木図書館」に
引っ越します！

編集・発行：「学びの森」

〒410-1102 裾野市深良 435 番地 4月まで

TEL：055-995-4903

FAX：055-995-4904

HP：「裾野市教育委員会」

<https://susono.schoolweb.ne.jp/susono>

(※HPでは各種研修会等の様子をご覧いただけます。)